

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	日本語とコミュニケーション B		
英文授業科目名	Japanese Communication B		
開講年度	2006年度	開講年次	3、4年次
開講学期	6、8学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	田中 真理		
居室	P-209		

公開E-Mail	授業関連Webページ
mari@fedu.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>「日本語とコミュニケーション」について、私も含め、全員で話し合います。今回は、相手が目の前にいない「日本語」のコミュニケーションをとりあげます。相手がいる場合は、相手の表情や、ことばが分からない場合にはジェスチャーでも伝えることができます。しかし、空間的な介在のある「電話」や「メール」や「メモ」などは、相手が見えないし、相手の状況が分かりません。そのようなコンテキストでのコミュニケーションは、留学生のみならず、日本人にとっても、かなり難しいものです。「メール」で相手を傷つけてしまったり、逆に自分が傷ついたりしたこともあるかと思います。みなさんの経験談も紹介してもらいながら、一緒に考えていきたいと思います。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
留学生：日本語第1，第2，第3

<b>【教科書等】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアに関する記事など</li> <li>・教師がテキスト（材料）を提供する場合と、学生が提供する場合がある</li> </ul>

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

- ・「メールとしての日本語」, 「メモとしての日本語」, 「電話の日本語」など, 直接相手と向かわない「日本語」を取り上げる
- ・実際の「メール」や「メモ」や「電話」(?)を題材に, 全員, あるいはグループで討論する
- ・ Surpriseとして, 突然「小論文」を書くことがあるかもしれない。短い時間に集中して自分の考えをまとめる練習をする
- ・自分の考えを他の人にうまく伝えられるように練習する。書いたものも, お互いに見せ合って, 批評ができるような雰囲気 of 授業にしたいと考えている
- ・最後に, 学期中に考えたことを発表する
- ・学期中に使った資料, 書いたものは「ポートフォリオ」として保存し, 最後に提出する) (「ポートフォリオ」については, 授業で説明する)

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- ・クラスでの貢献度, 積極性, 学期中の自己向上心などを高く評価する
- ・出席: 20%, 授業への貢献度・積極性・資料の提供など: 20%, 発表: 30%, ポートフォリオ: 30% (予定)

### 【オフィスアワー: 授業相談】

- (月) 3時~4時
- (火) 4時30分~5時30分
- (水) 4時30分~5時30分

### 【学生へのメッセージ】

「コミュニケーション」は難しいと思います。シャイな性格の人, 積極的な人, どのような人にも, 悩みはあると思います。また, 「コミュニケーション」を一般化するのは難しいし, そうする必要もないでしょう。ケース・バイ・ケースですが, 自分では気づかなかったようなことに, このクラスで気づき, それが将来社会に出たときに役立てば, うれしく思います。

### 【その他】